



News Release

2024年9月26日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

“ずぼら調理”が招く危険

～トリセツをよく読んで「調理家電の事故」を防ぎましょう～

1. 関東甲信越地方の調理家電の重大製品事故

（1）年度別事故発生件数と被害状況

2019年度から2023年度の間、NITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、調理家電の重大製品事故は189件ありました。調理家電の重大製品事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年度	2019年度	3	1	2	5	5	14	8	1	1		40
	(内数)火災事故	(2)	(1)	(2)	(5)	(1)	(14)	(8)	(1)			(34)
	2020年度	1	1	2	4	3	17	3		1	1	33
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(2)	(4)	(2)	(13)	(2)		(1)	(1)	(27)
	2021年度	2	1		3	4	17	7		1		35
	(内数)火災事故	(2)	(1)		(2)	(2)	(16)	(7)		(1)		(31)
	2022年度	3			7	2	21	8	2		1	44
	(内数)火災事故	(3)			(6)	(2)	(19)	(5)	(2)		(1)	(38)
2023年度	4		1	5	2	19	6				37	
(内数)火災事故	(3)		(1)	(1)	(1)	(16)	(6)				(28)	
合計		13	3	5	24	16	88	32	3	3	2	189
(内数)火災事故		(11)	(3)	(5)	(18)	(8)	(78)	(28)	(3)	(2)	(2)	(158)



表 2. 被害状況別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計	
被害状況	人的被害	死亡						1				1	
		(内数)火災事故						(1)				(1)	
		重傷				3	2	4	1				10
		(内数)火災事故											(0)
	物的被害	軽傷	1			1		4					6
		(内数)火災事故	(1)			(1)		(3)					(5)
		拡大被害	7	2	3	7	5	27	17	3	2	2	75
		(内数)火災事故	(6)	(2)	(3)	(7)	(3)	(26)	(17)	(3)	(2)	(2)	(71)
		製品破損	2		1	10	9	44	13				79
		(内数)火災事故	(2)		(1)	(8)	(5)	(41)	(10)				(67)
被害なし		3	1	1	3		9			1		18	
(内数)火災事故		(2)	(1)	(1)	(2)		(8)					(14)	
合計		13	3	5	24	16	88	32	3	3	2	189	
(内数)火災事故		(11)	(3)	(5)	(18)	(8)	(78)	(28)	(3)	(2)	(2)	(158)	

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの		1	3	5	3	6	6				24
	B 製品および使い方に問題があったもの				3		9	3				15
	C 経年劣化によるもの				1		2	3				6
	G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの	1			1	5	15	3		1		26
	小計	1	1	3	10	8	32	15	0	1	0	71
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの											0
	E 誤使用や不注意によるもの	2	1		4	1	9	2	2		2	23
	F その他製品に起因しないもの	2			3		6	4				15
	小計	4	1	0	7	1	15	6	2	0	2	38
その他	G 原因不明なもの	4	1	1	3	4	32	8	1	2		56
	H 調査中のもの	4		1	4	3	9	3				24
	小計	8	1	2	7	7	41	11	1	2	0	80
合計		13	3	5	24	16	88	32	3	3	2	189

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① 電子レンジの事故事例 (禁止されている容器を加熱したことによる事故)

・ 2019年6月、埼玉県、製品破損

(事故内容)

電子レンジを使用中、製品から発煙する火災が発生した。

(事故原因)

庫内に紙皿の上に水の入ったペットボトルを置いて加熱したため、庫内で紙皿が炭化して異常発熱し、ペットボトルが溶融したものと推定される。なお、取扱説明



書にはレンジで使えない容器として、紙製品が記載されている。

② IH 調理器の事故事例（禁止された使用方法による事故）

・ 2021年3月、東京都、拡大被害

（事故内容）

IH 調理器を使用中、鍋の内容物から出火する火災が発生し、周辺を焼損した。

（事故原因）

鍋底が反った鍋で少量の油を加熱モードで加熱し、その場を離れていたため、油が過熱し、出火に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「底にそりのない鍋を使う。」、「1L 未満の油で調理しない。」、「調理中はそばを離れない。」旨、記載されている。

③ オーブントースターの事故事例（お手入れを怠ったことによる事故）

・ 2022年1月、東京都、拡大被害

（事故内容）

オーブントースターを使用中、周辺を焼損する火災が発生した。

（事故原因）

庫内に付着した食品くず等が過熱し、出火に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、本体のお手入れ方法として、「外側、内側及び焼き網をよく絞ったふきんでふき取る。庫内の下の方は下焼き網を持ち上げてふく。」旨、記載されている。

（本件に関する問い合わせ先）

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：矢代、佐藤、望月、浦岡、北村

電話：03-3481-1820